

2024年度教育研修事業一覧

種類別一覧

< 講習会 >

| 名称 | コース | 会場 | 日数 | 回数 | 定員 | 目的 | 受講対象者 |
|--|----------|---------|----|----|----|--|---|
| NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング (SL) 教材 (CAT編) | 図書 雑誌 | 各自 | 各自 | / | / | 総合目録データベースの構成、内容、データ登録の考え方 (入力基準) を修得する | 総合目録データベースおよびNACSIS-CATについて修得意欲のある者 |
| 目録システム 入門講習会 (自主開催) | | 主催機関による | | | | 共通に理解しておくべき、参照ツールの種類と使い方、書誌情報の内容理解と検索方法、所蔵登録の考え方 (入力基準) を修得する | 目録所在情報サービス参加機関において、目録業務または総合目録データベースを参照する業務を担当する者 |
| 研究データ管理 セルフラーニング教材 | | 各自 | 各自 | / | / | 大学等研究機関において研究者自身及び研究者の支援に関わる担当者が研究データ管理に関して理解しておくべき、知識・技術を修得する | 大学等研究機関における研究者、図書館員、URA、技術スタッフ等の研究支援者 |

< 専門研修 >

| 名称 | 会場 | 日数 | 回数 | 定員 | 目的 | 受講対象者 | |
|------------------|-----------|-------|---------|----|------|--|---|
| 目録システム 書誌作成研修 | 開催中止 | | | | | | |
| 情報処理技術 セミナー | 基礎 認証編 | Web開催 | 2 日間 | 各1 | 各18名 | 学認の参加に必要となる、Shibbolethの知識と、Shibboleth環境の構築技術を修得する | <所属機関> 教育・研究機関等 (大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人、大学校、独立行政法人、文部科学省の施設等機関、国立国会図書館等) <受講対象者> 大学等の機関内システム運用管理担当教職員 |
| | 活用 | Web開催 | 1日 | | 5名 | LC4RIの入門的体験を通じて、手法の要点を理解し、それぞれの現場で実務適用した際の業務改善について考えてもらう | |

<総合研修>

| 名称 | 会場 | 日数 | 回数 | 定員 | 目的 | 受講対象者 |
|------------------|-----------|--------------------|----|-----|---|--|
| 大学図書館員のためのIT総合研修 | Web開催 | 3日間 | 1 | 20名 | 国立情報学研究所と大学図書館等が連携・協力して解決しなければならない学術情報流通にかかる課題解決のために、学術情報システムに関する総合力を養成する | <p><所属機関>教育・研究機関等 (大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人、大学校、独立行政法人、文部科学省の施設等機関、国立国会図書館等)</p> <p><受講対象者>大学等から直接雇用されて勤務し、また受講後も一定期間の勤務を予定している職員</p> |
| 大学図書館職員短期研修 | 京都大学附属図書館 | 4日間 | 1 | 40名 | 大学図書館等の職員が、今後の図書館運営を担う要員となるために必要な図書館業務の最新の知識を修得する | <p><所属機関>教育・研究機関等 (大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人、大学校、独立行政法人、文部科学省の施設等機関)</p> <p><受講対象者>大学等の図書館に勤務する職員(原則35歳以下、図書館業務経験2年以上10年以下)</p> |
| 国立情報学研究所実務研修 | 国立情報学研究所 | 個別調整 (3ヶ月～1年以内) | | 若干名 | 国立情報学研究所の実務を経験することにより、高度の学術情報システムの環境に対応しうる知識を修得する | 大学・研究機関等において、図書館、電子計算機およびネットワーク等の業務に従事する職員 |

<その他>

| 名称 | 会場 | 日数 | 定員 | 目的 | 受講対象者 |
|--------------|------|----------------|---------|---|----------------------------------|
| 大学等主催講習会への協力 | 開催機関 | 開催機関のカリキュラムによる | 対応可能な範囲 | 国立情報学研究所の各サービスについて大学等が独自に実施する講習会等に対して、資料の提供や利用者番号の貸与等の協力を行う | 各サービスの利用者の範囲に含まれる機関が実施する講習会等の受講者 |